

2023 年度 学校法人 三幸学園 大宮医療秘書専門学校

自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 丸山 政孝

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理士を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策振り返り

年間を通じて「人を育てる学校へ！！～すべての道は社会へつながる～」という教務テーマを掲げ、技能教育だけではなく、社会人教育に努めた。

就職後の離職率低減とICT 化促進に向けた学校運営のペーパーレス化にも注力した。離職率低減に向けた取り組みとしては、卒業年次の在校生向けに「組織で働くこと」「新社会人に求められること」「報連相について」「新社会人としての姿勢」のテーマを設定し、研修を実施した。その結果、就職研修の辞退者が2名にとどまり、昨年度に比べ大幅に低減することができた。

ペーパーレス化に向けては、年間スケジュールや時間割などの紙面での配布を減らし、WEB 掲示板にアップする準備を進め、今年度より実施する。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・学生に向けた教育理念や目指すべき職業人像については、入学当初に実施するスタートアッププログラムで周知しているものの、保護者に向けては年度当初に実施するオンデマンド配信のみのため、保護者への周知に課題が残る。

②今後の改善方策

・入学前保護者説明会を対面で行うことで、保護者に学校理念や教育方針・目指すべき職業人像をご理解いただく機会を設ける。

・教科担当を含む全教員からも学生へ浸透できるよう、全教員が集まる会議でも伝え続ける。

① 特記事項

・特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

・テストの採点などはまだアナログで実施しているものが多いため、効率のよい方法を模索している。

② 今後の改善方策

・学校の WEB 掲示板でテストを実施し、ペーパーレス化できるよう進めていきたい。

③ 特記事項

・特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・WEB 上で生徒状況を共有し、教員全体で生徒の学習支援ができるよう試みたが、直接のコミュニケーションが足りず、事細かなフォローには至っていなかった。

② 今後の改善方策

- ・直接のコミュニケーションで担任や教科担当が連携できる仕組みをつくり、対面とICTを活用してより効率的な学習支援が行えるようにしていく。
- ・学年会を実施し、直接コミュニケーションをとる機会をつくる。

③ 特記事項

・特になし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

- ・卒業学年に向けては、社会人になったときのイメージを持つために、卒業生講話や社会人教育を実施したものの、就職活動に前向きでない学生へのフォローに課題が残った。
- ・進級学年に向けては、退学率が向上してしまったため、フォロー体制を確立していく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・昨年度実施した卒業生講話や社会人教育は引き続き行いつつ、新たな取り組みとして、WEBでの連絡手段を確立し、こまめでスムーズな就職支援を行う。
- ・先輩との座談会を実施し、教員には言いづらい悩みなどを話せるようにしていくこと、のんびりスペースを作り教室以外でほっとできる場所を確保することで、心理的安全性を確保する。
- ・キャリア探究活動として公認欠席が認められるため、進路変更に踏み込む前にキャリア探究の機会を提供したい。

③ 特記事項

- ・特になし

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・外部に出て課外活動をする機会がなかなか提供できていなかったため、通常授業プラスアルファの活動を今後増やしていきたい。
- ・卒業生が学校に気軽に顔を出せるような機会を増やしていきたい。

② 今後の改善方策

- ・学外実習以外でも現場に触れる機会が設けられるよう、ボランティアを募集している施設と連携していく。
- ・卒業4か月後に学内でホームカミング同窓会を開催し、卒業後も継続して関われる機会を提供する。

③ 特記事項

- ・特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・実技教室が今よりも充実すれば、より効率的・効果的な授業展開を実施できる。

② 今後の改善方策

・医学実習室の充実ができるよう、新校舎の活用をどのようにしていくか検討していく。

③ 特記事項

・特になし

(7)学生の入入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・募集状況については例年同数くらいの入学者がいるものの、今後の人口減少に向けた対策が必要となる。

② 今後の改善方策

・通信制高校出身者の増加に伴うフォロー体制にも注力していく。
・再進学者が魅力に感じる部分の打ち出しを強化していく。

③ 特記事項

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・引き続き順守をしていく。

③ 特記事項

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

・分野特性上、なかなか外部活動に踏み込めておらず、実習以外での活動ができていない。

② 今後の改善方策

・産学連携担当が計画的に外部との連携機会を設定し、学生へ共有していく。

③ 特記事項

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年度まで実施に踏み切れなかったボランティア活動などを実施し、医療機関とのよりよい連携をはかれるようにしていきたい。また、学校行事をコロナ禍以前に戻せたことにより、より「この学校で成長できた」と感じられる運営ができるように積極的に参加を促していきたい。

在校生同士の関わりを増やすため、実習や検定のサポートなどコミュニケーションを取れるような機会を作っていく。また、卒業生と継続的に関わることができるよう、同窓会や卒業生講話などを開催し、より良いサポートができるようにしていく。

以 上